



2022年3月9日

各 位

会 社 名 株式会社うかい
 代表者名 代表取締役社長 紺野 俊也
 (コード番号: 7621 J A S D A Q)
 問合せ先 取締役 執行役員 経営企画室長
 齋藤 寿美子
 電話番号 042-666-3333

特別損失の計上、通期業績予想及び配当予想の修正（無配）に関するお知らせ

当社は、2022年3月期決算におきまして、特別損失（減損損失）を計上する見込みとなりました。あわせて、2021年5月19日に公表いたしました「2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」において「未定」としておりました2022年3月期 通期業績予想及び配当予想につきまして、下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上について

2022年3月期 第4四半期会計期間において、当社が保有する固定資産のうち3店舗について、現在の事業環境を鑑み「固定資産の減損に係る会計基準」に基づく将来の回収可能性を検討した結果、332百万円を減損損失として特別損失に計上する見込みとなりました。

2. 業績予想の修正について

(1) 2022年3月期通期の業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	9,635	△1,263	△689	△1,060	△202円19銭
増減額 (B - A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	8,575	△1,199	△1,157	△1,677	△320円43銭

(2) 修正の理由

2022年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響等が不透明であったことから、合理的に算定することが困難であると判断し「未定」としておりました。この度、2022年3月期第3四半期までの業績及び第4四半期の事業進捗状況を考慮し、現時点で入手可能な情報に基づき業績予想を算定しましたので公表いたします。

第2四半期累計期間までは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響で厳しい状況となりましたが、感染状況に落ち着きがみられるようになった秋以降は客足の戻りが見られ、第3四半期会計期間は回復基調で推移いたしました。しかしながら、2022年1月に同感染症の変異株（オミクロン株）による第6波が襲来し、政府・自治体からまん延防止等重点措置の再適用が課されるようになったことで、業績回復に足踏みがみられております。

このような状況を踏まえ、売上高は前年比12.4%増の9,635百万円を見込んでおり、その結果、営業損益は1,263百万円の営業損失を、経常損益は同感染症に関連した助成金収入の計上により689百万円の経常損失を、当期純損益は上述の減損損失を計上することから1,060百万円の当期純損失を見込んでおります。

3. 配当予想について

(1) 配当の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2022年2月4日公表)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
今回発表予想	—	0.00	0.00
当期実績	0.00		
前期実績 (2021年3月期)	0.00	0.00	0.00

(2) 修正の理由

当社は、財務基盤の健全性の確保と中長期的な安定配当の継続とのバランスを勘案し、株主の皆様に適正に利益還元することを基本方針としております。

しかしながら、上述のとおり当期業績において損失が見込まれること、また先行き不透明な経営環境下と今後の財務状況を勘案した結果、誠に遺憾ではございますが、2022年3月期の期末配当については、無配とさせていただきます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、全社一丸となって業績回復に注力し、可能な限り早期に復配できるよう努めてまいりますので、ご理解と引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上